

# 令和2年度福島市社会福祉審議会

## 第3回児童福祉専門分科会 議事録

1 日 時 令和3年3月19日(金) 15:00~17:00

2 場 所 福島市国体記念体育館 研修室

3 出席者 荒井 麻由美 委員、氏家 京子 委員、吉田 務 委員、神戸 信行 委員、  
古関 久美子 委員、菅井 謙一 委員、安齋 節子 委員、立花 由里子 委員、  
田辺 稔 委員、長谷川 美香 委員、野地 妙子 委員、山田 和江 委員、  
大和田 誠 委員、菊田 由香 委員 (計14名)

### 4 内 容

(1) 開 会

(2) 委員の変更

連合福島福島地区連合 議長 菅井 謙一 氏(前委員 事務局長 紺野 淳 氏)

(3) 議 事

令和3年度教育・保育施設等の利用定員案について

資料1 資料2 資料3 資料4に基づき、事務局より説明

### 【質疑応答】

◎会 長 2・3号認定について、計画値との比較で+17名ということは、供給体制に17名分の余裕があるということか。

●事務局 そのとおりである。

○委 員 聖心三育保育園について、なぜ、利用定員を増やしたのか。

●事務局 地域の保育のニーズに応えるため、1歳児から5歳児の利用定員を2名ずつ増やすということである。

○委 員 教職員の確保はできるのか。

●事務局 個々の園によっては、定員までの受入が難しいということはあるが、直接そういったことは聞いてはいない。

○委 員 定員が増えるが、保育士数は変更しないのか。

●事務局 保育士の人数の報告は求めているが、配置基準を満たす保育士数を確保できることが前提で、定員を増やすということである。

(4) 報告事項

①福島市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の基準を定める条例の改正について

資料5に基づき、事務局より説明

②「福島市子どものえがお条例」素案について

資料6に基づき、事務局より説明

【質疑応答】

○会 長 今後のスケジュールを教えてください。

●事務局 現時点でいつの議会とは言えないが、できる限り早期に、議会に上程できるよう準備を進めていく。

③「福島市青少年プラン」の原案の決定について

資料7に基づき、事務局より説明

【質疑応答】

○委 員 コロナによる子どもの自殺の問題が取り上げられるようになっている。今後、そういったことも勘案して取り組んでほしい。

④放課後児童クラブの公募および結果について

資料8に基づき、事務局より説明

【質疑応答】

○委 員 令和3年4月からは、全部で何クラブになるのか。

●事務局 91クラブである。

○委 員 職員体制など、クラブにより質が異なると感じている。全国的にみても、様々な企業が学童クラブの経営をはじめてきていることに不安を感じる。学童は子どもたちにとって毎日の生活の場であるので、経営にはしって、子どもの成長を妨げてはいけない。職員の質を向上させることは、子どもたちに還っていく。学童間に差が生じないように、市の研修等を充実させ、質の向上に努めてほしい。

○委 員 監査は実施しているのか。

●事務局 委託事業であるので、実施報告書を出してもらい、確認をしている。また、国による実施状況調査、市による現地調査を実施している。

(5) その他

①令和3年度福島市予算案の概要について

資料9に基づき、事務局より説明

【質疑応答】

○委 員 国の第3次補正関係は反映されているのか。

●事業者 子育て関連施設感染防止対策支援事業等に反映されている。

- 委員 産前・産後サポート事業について、具体的には、何をやる事業なのか。
- 事務局 実施内容は大きく2つある。1つは、研修を受けた地域の方が家庭を訪問し、母親に寄り添って話を聴く傾聴と一緒に家事をしたり育児をしたりする協働である。もう一つは、専門職員を配置し、里帰りできない孤立した妊産婦の支援をするというものである。

## ②幼稚園送迎ステーション事業について

資料10に基づき、事務局より説明

### 【質疑応答】

- 委員 すでに決まっている利用者はいるのか。
- 事務局 3月議会で承認を得てから正式に事業をスタートすることになることから、まだ利用者の確定はしていない。現在は、事業に協力いただける私立幼稚園を探し、個別に保護者の方に声を掛けている状況である。
- 委員 私立幼稚園で預かり保育が終わった後で、送ってもらえるのか。
- 事務局 事業に協力いただける園については、送ってもらえることになっている。
- 委員 福島保育所では、何人ぐらい受け入れられるのか。
- 事務局 20名程度である。軌道にのった場合の最大の人数である。
- 委員 福島保育所では保育所の運営をしながら、幼稚園に通う子どもの預かりをやることになるが、保育士の確保は大丈夫なのか。
- 事務局 必要な保育士は確保されている。最低でも2名の保育従事者を配置して実施する。
- 委員 この事業に対して、待機児童が出るのではないかと。定員が20名というのは、少ない気がする。この事業は、千葉県の松戸市でも実施していて、将来的には、20名では少ないのでは。
- 事業者 まずは、テストケースではじめてみるという形である。需要が高まれば、ステーションの拠点を増やす必要があると考えている。
- 委員 福島保育所で子どもたちが待機する際、面積的に考えて、過密にならないのか。
- 事業者 通常の一時預かり事業前後の時間帯に、一時預かり専用スペースを活用する。人数が多い場合は、予備の部屋も準備をしている。子どもがのびのびと過ごせる環境が必要であると考えている。
- 委員 現時点で、受け入れを表明している私立幼稚園は何園か。
- 事業者 全園に照会しているが、4月から正式に表明しているのは2園である。令和4年度の保育所及び幼稚園の申込みに向けて、もっと増えるのではないかと期待している。
- 委員 子どもたちは、福島保育所と私立幼稚園の2箇所で過ごすことになる。それぞれの施設間で、子どもの状況について、連絡を密にするようお願いしたい。
- 事務局 施設間の連携は課題だと思っている。実施をしていく中で、より良い方向にしていきたい。
- 委員 市内のほとんどの私立幼稚園は第1、第3土曜日は午前中保育である。土曜日勤務の保護者もいるため、土曜日だけ、私立幼稚園から福島保育所まで早く送ってもらい、

ステーション事業として長く預かってもらうようなことは考えているのか。

●事務局 土曜日のニーズが高いということであれば、福島保育所にて、通常の一時預かりとステーション事業の一時預かりを併用することも考えられると思っている。私立幼稚園で早く送ってもらい、ステーション事業として長く預かれるかは、今後、福島保育所と相談しながら検討していきたい。

○委員 通勤ルート上の人しか使えないのかと思う。他の拠点も検討してほしい。事業の周知方法はどのように考えているか。

●事務局 市のホームページ、市のSNSなど既存の媒体をフル活用しながら周知していきたい。それと同時に、私立幼稚園関係者のフォーラムでの周知、各園の入園の申込み案内へのチラシの同封、地域型保育施設へのチラシ配布等による周知を考えている。

○委員 料金はどのくらいか。

●事務局 延長保育の利用料金との比較が必要であり、月額2,000円程度と考えている。

#### (6) 閉会

社会福祉審議会委員の任期が今年度末までとなっているため、来年度以降の委員就任についても協力をお願いし、閉会